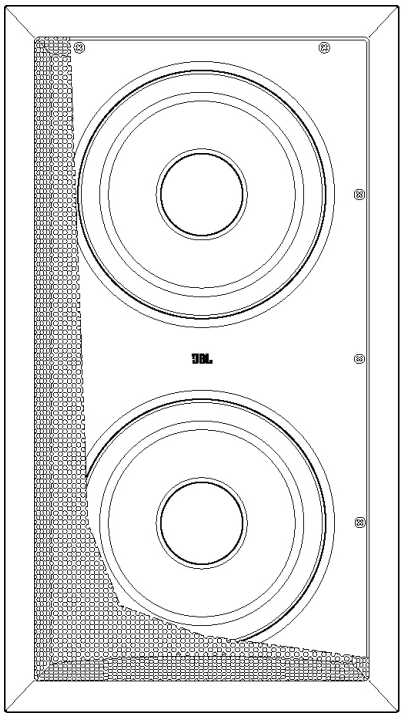
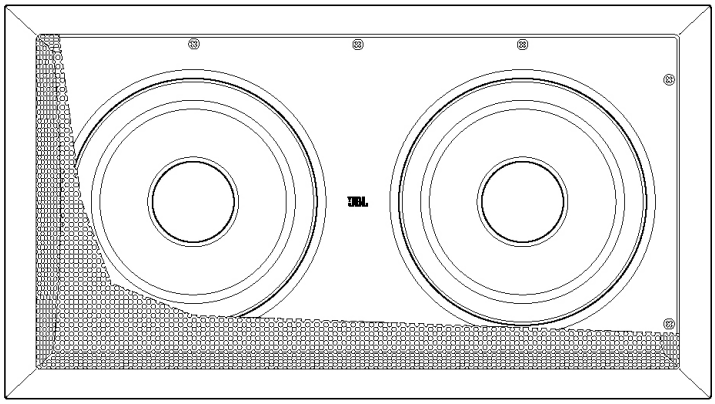
IN-WALL PASSIVE SUBWOOFER

SS88IWS

取扱説明書





この度は JBL SS88IWS インウォール・サブウーファーをご購入頂きまして誠にありがとうございます。SS シリーズは、JBL のホームオーディオ用スピーカーの卓越した技術に、世界中で活躍する JBL プロフェッショナル・スピーカーシステムのテクノロジーを注ぎ込んだ高性能な埋め込み型スピーカーです。本機は SS シリーズのインウォール＆シーリング・スピーカーの低域拡張に最適なサブウーファーで、充実した低音がライブミュージックを、ムービーを、臨場感豊かに再生します。
本製品をより良く理解していただき、正しくお使いいただくために、ご使用前にこの説明書を最後までお読みください。

harman international
ハーマンインターナショナル 株式会社

１：　開　梱　に　あ　た　っ　て

外観、機能共に完全な状態でお届けされたことと存じます。万一損傷や故障が認められた場合には、直ちにお買い上げ店にご連絡ください。
各製品の梱包には、以下の製品及び付属品が納められていますのでご確認ください。

・スピーカー本体　　：１本
・グリル　　：１枚
・テンプレート(マスキングボード付)　：１枚
・グリルロゴ　　：１個

カートンボックスに保証書が添付されていますので、内容をご確認の上、大切に保管してください。
オリジナル･カートンボックスは､緩衝材等を含め開梱後もそのままお手元に保管くださるようお勧めします｡修理などのため本体を輸送されるような場合､オリジナル･カートンボックス以外のもので行った不完全な梱包により損傷が生じても、責任を負いかねますのでご注意ください。

⚠注意　本製品はパッシブ型サブウーファーのため､駆動用アンプ回路は内蔵していません｡サブウーファー用スピーカー出力のあるAVアンプをご使用になるか､AVアンプのサブウーファー用出力（LFE出力など）に別途パワーアンプを接続してご使用ください。本機の内臓ネットワークを使用して､アンプのメインスピーカー用出力から本機とメインスピーカーとに出力を分配して使用することも可能です。

２：　保　証　に　つ　い　て

保証は製品に添付された保証書の規定に基づいて行われますので、保証書をよくご覧下さい。
過った使用に起因した故障などに伴うアフターサービスは、保証期間の有無にかかわらず有償となります。また、送料はお客様負担となりますのでご了承下さい。

３：　設　置　に　つ　い　て

スピーカーは、丈夫な壁面に梁や柱、鉄骨などの構造物を避けて設置します。また、壁面内の配線や配管等に影響の無い、十分なスペースを見つけて設置してください。必ず、取り付ける住居の構造に詳しい専門の業者に委託し、取り付けを行ってください。適切でない取り付けによって起こった製品および住居の損害に関して、弊社では一切責任を負いかねます。

⚠注意　本製品には、磁力によるテレビ画面への影響を抑える防磁設計が施されていませんので、ブラウン管(CRT)式テレビにスピーカーが近接して設置されている場合、テレビによっては画面に色むらが生じる場合があります。このような恐れがある場合は、スピーカーをテレビから少し離れた位置に設置してください｡液晶型またはプラズマ型テレビをご使用の場合には、画面への影響はありません。
また､内部回路素子がテレビから放射される高周波磁気に反応しノイズや歪みを発生する場合があります。このような場合もテレビから少し距離を取って設置してください。

≪　設置場所の選定　≫

サブウーファーの扱う低音域は音の方向性を感じさせる指向性が弱いため、サブウーファーを設置する場所は比較的自由に選定できますが、切れの良い明確な低音域を得るためにはできるだけ前方のメインスピーカーの近くに置き、しっかりとリスナーに向くよう設置場所を定めてください。左右のメインスピーカーの間隔が広い場合は、その中央付近に設置すると明確なセンター定位が得られるでしょう。本機は縦型、横型いずれの設置方法にも対応します。部屋のコーナー近くに設置することで低域レベルをさらに高めることも出来ますが、逆に低域明瞭度が低下する恐れもあります。
AV/マルチチャンネル用サブウーファーとして用いる場合には、組み合わせるAVアンプ等の説明書に従い、使用するマルチチャンネルフォーマットに合ったスピーカー配置を行ってください。

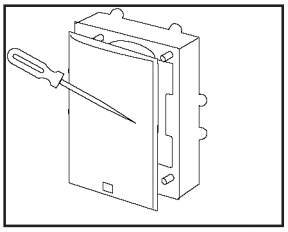
≪　壁面への取り付け　≫

取り付けには以下の道具が必要となります。
- 鉛筆（取り付け位置のマーキング用）
- ＋ドライバー
- メジャー(柱の間や天井と床間の距離が計れるもの)
- のこぎり,ナイフ,カッターなど、壁面を切り開く道具
- 水準器

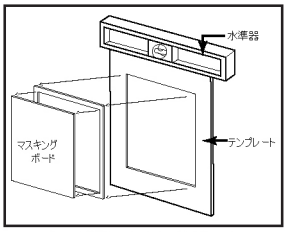
■取り付け手順

本製品のフレームの周りにはドッグイヤー式クランパーを装備しており、スピーカーを壁開口部にはめ込みネジを締めると、中でクランプが開き壁を挟み込む構造になっています。壁の中でクランプが確実に開くよう、作業の前にすべてのクランプのネジを十分に緩めておいてください。

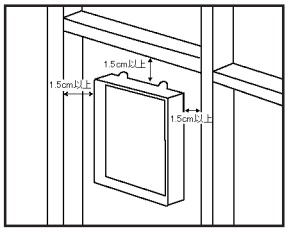
※本機の取り付けに必要となる壁の開口部の穴のサイズは、横幅：289㎜ × 高さ：518㎜（縦型設置時）です。



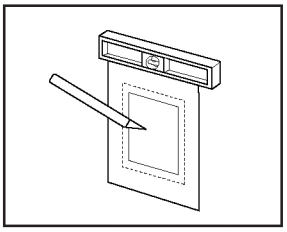
グリルにはさみ込まれた紙を引っぱり上げるようにして、グリルを取り外します。紙が抜けてグリルが外せない場合は、目打ち、針などを使ってグリルの端を少しずつ持ち上げて外してください。



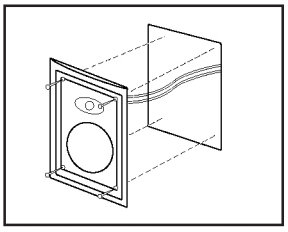
マスキングボードを切り抜いたテンプレートを壁面に水平に当て、鉛筆などを用いて取り付け穴の位置にマーキングをします。



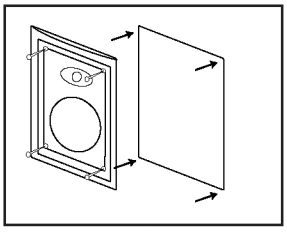
注意:
スピーカーは、壁面内部の間柱や梁などから1.5cm以上距離を離して取り付けしてください。



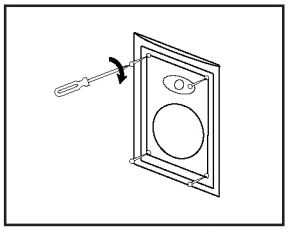
ノコギリ、カッターなどを使用して、壁にスピーカー取り付け用の穴を開けます。



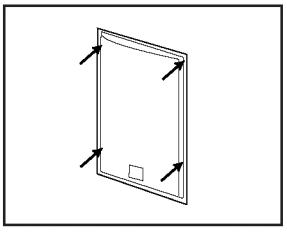
スピーカー背面の端子にスピーカーケーブルを接続します。＋/－に注意して接続してください。



壁の取り付け穴にスピーカーをはめ込みます。この時、壁面との間にケーブルをはさまないよう、十分ご注意ください。



バッフルの取り付けネジを時計方向に廻すと、壁面内部でクランパーのつめが回転して開きます。
さらにネジを締めることでつめが内側から壁をはさみ込み固定します。



グリルの外周部をバッフルの溝に入れ、端からゆっくりと押し込んでグリルを取り付けます。

⚠注意　作業の際は壁面内にある屋内配線や配管などを切らないように十分ご注意ください。

設置が終わりましたら、グリルロゴの裏紙を剥がし、グリルの希望の位置に貼り付けてください。

４： 接 続 に つ い て

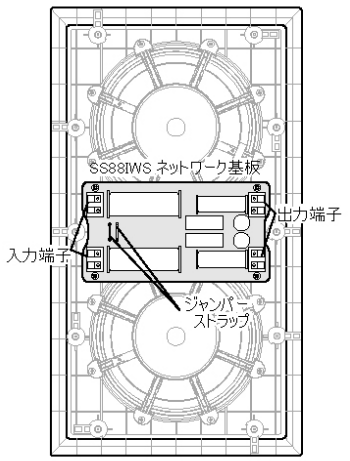
⚠注意 本製品はパッシブ型サブウーファーのため、駆動用アンプ回路は内蔵していません。サブウーファー用スピーカー出力のあるAVアンプをご使用になるか、AVアンプのサブウーファー用出力（LFE出力など）に別途パワーアンプを接続してご使用ください。本機の内臓ネットワークを使用して、アンプのメインスピーカー用出力から本機とメインスピーカーとに出力を分配して使用することも可能です。

本機の入力端子は、本体背面のネットワーク基板上にあり、ノブの赤い端子(IN+)がプラス(＋)、黒い端子(IN−)がマイナス(−)です。良質なスピーカーケーブルを使用して、本機の入力端子と使用するアンプのスピーカー用出力端子とを接続してください。

サブウーファー用出力端子の無いアンプとの接続

本機をサブウーファー端子のないステレオ用アンプなどと接続して使用する場合は、市販のスピーカーケーブルを使用して、アンプのスピーカー用出力端子から本機の入力端子に接続し、さらに本機の出力端子から使用するメインスピーカーに接続します。その際、メインスピーカーにはネットワークで低域成分(100Hz 以下)がカットされた中低域以上の信号が供給されます。

SS88IWS背面



Ⅰ． SS88IWS１本をステレオ･モードで使用する場合

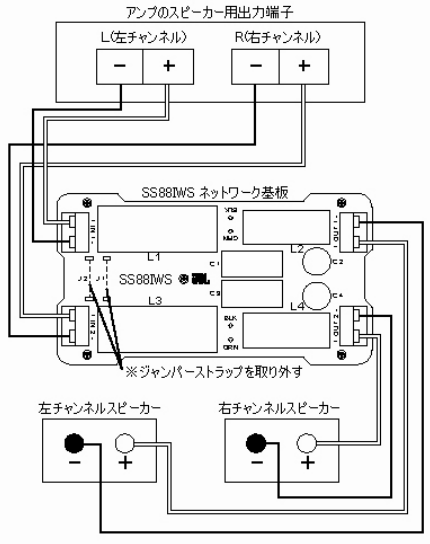
本機を１本使用してステレオ･モードでアンプに接続して使用する場合には、下記Ⅰ.図を参照し接続を行ってください。その際、必ずジャンパーストラップを取り外してください。この時、システムのインピーダンスは、各チャンネル毎に８Ωとなります。

⚠警告 ジャンパーストラップを取り付けたまま本機をステレオ･モードで接続し使用すると、アンプに重大なダメージを与える場合があります。ご注意ください。

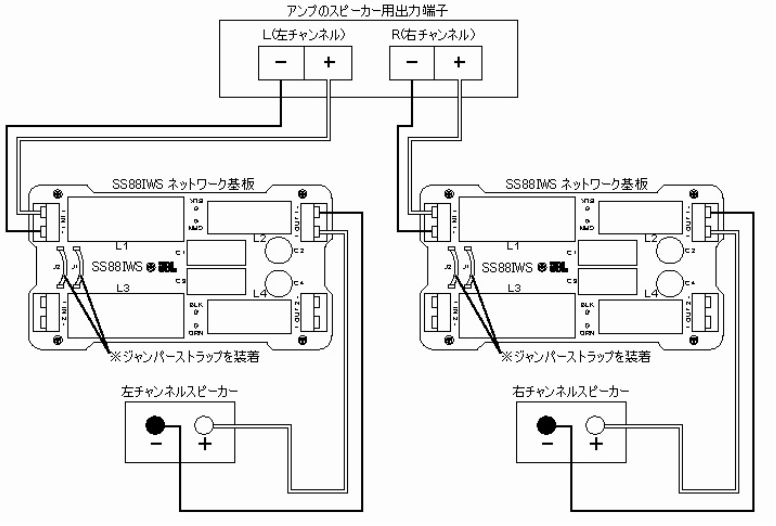
Ⅱ． ２本のSS88IWSをモノラル･モードで使用する場合

本機を２本使用してモノラル･モードでアンプに接続して使用する場合には、下記Ⅱ.図を参照し接続を行ってください。この場合には、ジャンパーストラップを取り付けたまま接続を行います。この時、システムのインピーダンスは、各チャンネル毎に４Ωとなります。

Ⅰ. SS88 IWS １本をステレオ･モードで使用する場合
（※ジャンパーストラップを取り外す）



Ⅱ. SS88IWS ２本をモノラル･モードで使用する場合
（※ジャンパーストラップを装着）



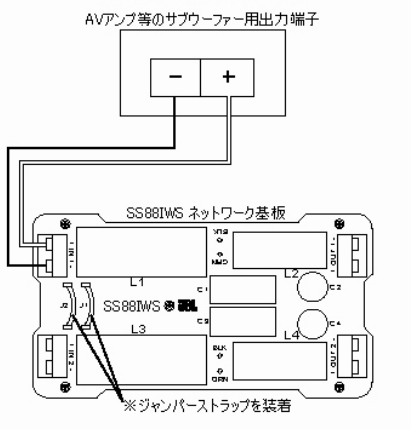
サブウーファー用出力端子のあるアンプとの接続

本機を AV アンプのサブウーファー用スピーカー端子またはサブウーファー用端子に接続されたパワーアンプなどと接続して使用する場合には、市販のスピーカーケーブルを使用して、アンプのスピーカー出力端子から本機の入力端子に接続します。その際、本機の出力端子には何も接続しないでください。

Ⅲ. サブウーファー用端子が１つだけ装備されているアンプと接続する場合

Ⅲ.図を参照し、本機を１本使用してモノラル･モードでアンプに接続します。この場合には、ジャンパーストラップを取り付けたまま接続を行ってください。この時、システムのインピーダンスは４Ωとなります。

Ⅲ. SS88IWS １本をモノラル･モードで使用する場合
（※ジャンパーストラップを装着）



Ⅳ. サブウーファー用端子が左右チャンネル用に２つ装備されているアンプと接続する場合

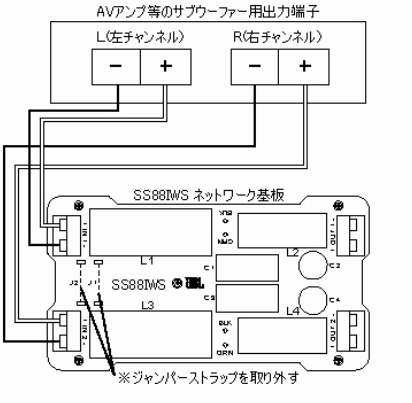
本機を１本使用してステレオ･モードでアンプに接続して使用する場合には、Ⅳ.図を参照し接続を行ってください。その際、必ずジャンパーストラップを取り外してください。この時、システムのインピーダンスは､各チャンネル毎に８Ωとなります。

⚠警告

ジャンパーストラップを取り付けたまま本機をステレオ･モードで接続し使用すると、アンプに重大なダメージを与える場合があります｡ご注意ください。

本機を２本使用して､それぞれをモノラル･モードでアンプの左右２つの出力に接続して使用する場合には、各チャンネルの出力端子それぞれに前述Ⅲ.の要領で本機を接続してください。

Ⅳ. SS88IWS １本をステレオ･モードで使用する場合
（※ジャンパーストラップを取り外す）



●接続の際は、ケーブルの導線部分が確実に端子にはさみ付けられていることをご確認ください。ケーブルの皮膜部分を咬むと、音が出ない場合があります。また、ケーブルの導線が他の端子に触れてショートしないよう、十分ご注意ください。

５： ＡＶアンプの出力設定

AV アンプのサブウーファー用出力をご使用になる場合には、これらの機器の取扱説明書を参照して、サブウーファー出力の設定を行ってください。本機は搭載されたネットワーク回路により、常に 100Hz 以下の低域信号のみを再生するよう設計されています。サブウーファーのクロスオーバー(ローパス)周波数の設定ができる AV アンプをご使用の場合、これを 100Hz 以上に設定した場合にも、本機のネットワークの働きによりサブウーファーからは 100Hz 以下の低域信号しか出力されません。AV アンプのクロスオーバー設定を働かせたい場合には、100Hz 以下の周波数に設定してください。

６： レベル調整

サブウーファーと他のスピーカーとの再生音量は、チャンネル毎のアンプの入出力ゲイン(増幅率)や、それぞれのスピーカーの能率(出力音圧レベル)、インピーダンスなどのスペックの違い、さらに壁や床面との距離など設置場所の環境の違いにより、すべて異なります。一体感のあるシステム構成のために、お手持ちの AV アンプの説明書に従い、各チャンネルの音量レベルの調整を必ず行ってください。

７： 保守

お手入れの際は、乾いた布で表面を掃くようにして埃を取り除いてください。汚れがひどい時は、湿らせた布などで表面を拭いてください。ベンジン、シンナー、アルコールなどを含む揮発性の薬品で拭いたり、近くで殺虫剤などを散布したりしないでください。

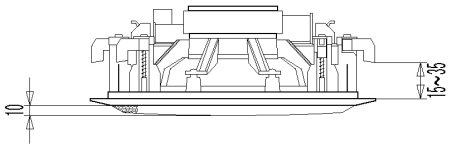
⚠注意 スピーカーのユニット表面に埃が着いた時は、柔らかく乾いた筆や刷毛などを利用して丁寧に埃を払ってください。濡れた雑巾などは絶対に使用しないでください。

≪ フレームの塗装 ≫

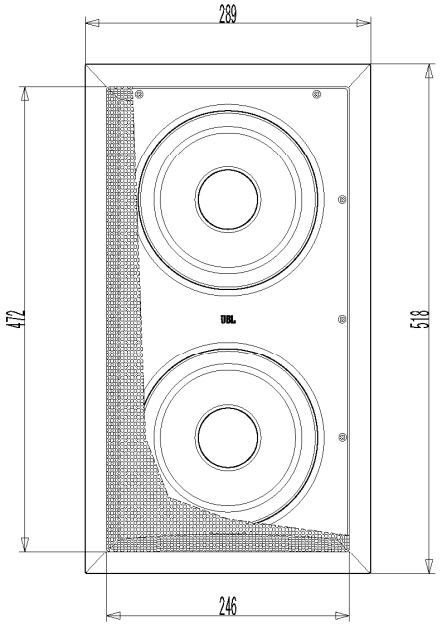
お部屋の壁面との調和を図るため、本機のフレームをお好みの色に塗装することができます。きれいに仕上げるためには適切な表面処理が重要です。塗装はスプレーやローラーまたはパッドなどを用いて行います。

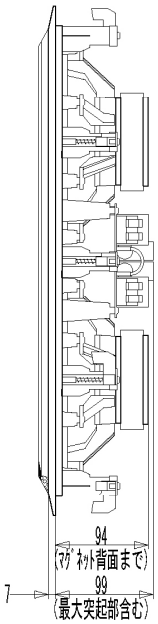
1. スピーカー本体を、塗装用の作業台の上に置いて下さい。
2. 付属のテンプレートから外したマスキングボードをバッフルに載せてください。
3. 軟らかい布などに消毒用アルコールなどを含ませてフレーム表面を軽く拭いてください。
4. 好みの色でフレームを塗装します。一度に厚く塗らず、薄く全体的に塗装を施し、これを何度か繰り返すことで希望する色に仕上げてください。

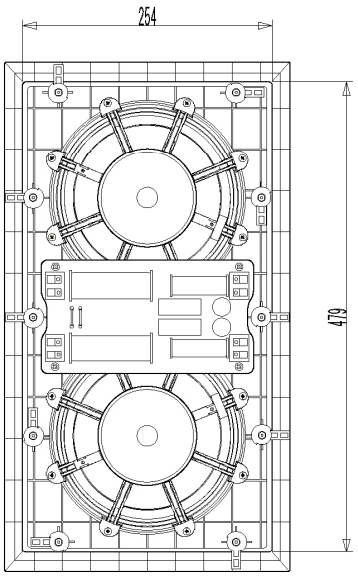
8： 仕 様



SS88 IWS 寸法図
寸法単位:mm







※仕様および外観は、改良のため予告無く変更される場合がありますのでご了承ください。

機種名	SS88 IWS
形式	ｲﾝｳｫｰﾙ型ﾊﾟｯｼﾌﾞ・ｻﾌﾞｳｰﾌｧｰ
使用ユニット　ｳｰﾌｧｰ	200mm 径ﾎﾟﾘﾏｰｺｰﾃｨﾝｸﾞ・ｱﾙﾐｺｰﾝｳｰﾌｧｰ×2
再生周波数帯域(-6dB)	30Hz ～ 100Hz
許容入力(RMS)	250W/ch
出力音圧レベル(2.83V/1m)	94dB
クロスオーバー周波数	100Hz
インピーダンス	8Ω/ch
外形寸法(幅×高さ×奥行き)	289×518×106mm(ｸﾞﾘﾙ含まず) 289×518×116mm(ｸﾞﾘﾙ含む)
埋込寸法(幅×高さ×奥行き)	254×479×99mm
重量	6.0kg(ｸﾞﾘﾙ含む)

JBL

harman international
ハーマンインターナショナル 株式会社
製品に関するお問い合わせは、弊社マーケティング部 ☎03-3836-5660 まで

東京ｻｰﾋﾞｽｾﾝﾀｰ　：〒135-0033 東京都江東区深川1-6-29　結城運輸倉庫(株)内　☎ 03 (5639)3011
本社営業部　：〒110-0005 東京都台東区上野5-7-7　公徳堂ビル　☎ 03 (3836)5641
大阪営業所　：〒532-0011 大阪市淀川区西中島5-12-15　双葉ビル602号　☎ 06 (6301)1396
福岡営業所　：〒816-0844 福岡県春日市上白水4-40　☎ 092(573)2023

MKT 2K8.11.13